

名古屋大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 構造・材料工学講座教員公募

所属：名古屋大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 構造・材料工学講座 構造解析学グループ  
(なお、本専攻における教育研究は、本学大学院環境学研究科都市環境学専攻との緊密な連携協力によって実施しています。)

募集人員：教授1名

募集分野：構造工学

以下のいずれかの研究を行い、研究・開発した技術を国際的に展開することに高い意欲を有する人材を求める。

- ・大地震時における人的、物的、社会・経済的被害を最小限にとどめることを目指して、それに資するレジリエントな土木構造物を構築するための研究を推進する。例えば、土木構造物を対象として、耐震性能の評価とその向上法に関する研究、新材料や新構法等を用いた振動制御に関する研究、極大地震動下における崩壊制御に関する研究などを行う。
- ・構造物の力学的理解と情報の最大限の活用を社会基盤施設のライフサイクルの根幹に位置づけ、構造工学と情報学との融合による新たな学問分野の構築を目指す。例えば、土木構造物を対象として、ビッグデータや人工知能を活用した構造設計、構造解析、維持管理に関する研究などを行う。

応募条件：(1) 博士あるいはPh.D.の学位を持つもの  
(2) 土木工学分野の学部担当および大学院担当ができるもの  
(3) 英語と日本語による講義および学部・大学院学生の指導ができるもの  
(4) 専門分野において国際的に業績があるもの

着任時期：平成30年4月1日

選考方法：書類審査後、必要に応じて面接を行う場合があります(面接の際の交通費等は支給しません)

提出書類：(1) 履歴書(顔写真、学歴、職歴、E-mail アドレス等を記載)  
(2) 研究などの業績リスト(著書、査読審査付き論文、国際会議論文、その他発表論文、総説・解説・論説等、その他(特許、実務報告書など)に分類すること)  
(3) 研究などの業績の要約(3000～4000字程度。(2)の主な業績と対応させること)  
(4) 主要論文の別刷り・著書(3編程度。著書については審査終了後に返却します)  
(5) 研究資金獲得実績(科研費など競争的外部資金、産学官研究資金など)  
(6) 募集分野に関する研究と教育に対する抱負(3000～4000字程度)  
(7) その他の参考となる資料(学会活動、社会貢献、受賞歴、招待講演歴、博士論文指導実績など)  
(8) 応募者の業績についてこちらから問い合わせができる研究者2名の名前と連絡先(うち1名は海外の研究者が望ましい)

応募期限：平成29年9月29日(金) 必着

書類提出・問合せ先：

〒464-8603 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻 中村 光  
Tel : 052-789-5690、 E-mail: hikaru@nagoya-u.jp

- ※封筒に「教員応募書類在中」と朱書し、書留郵便でお送りください。
- ※提出いただいた書類は返却しません。また、本選考以外の目的には使用しません。
- ※本公募では、研究業績や研究と教育に対する抱負などの評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用いたします。